

むらやま 議会だより



写真／居合道合同演武会にて

もくじ

- ◎ 9月定例会…………… P 2～3
- ◎ 決算特別委員会…………… P 4
- ◎ 一般質問…………… P 5～9
- ◎ 議会活動レポート…………… P 10～11
- ◎ 市民の声…………… P 12



←携帯からはコチラ



1万円 1万円

を認定

9月 定例会

令 和元年第3回定例会は9月2日から20日までの会期で開催され、30年度決算などの審議を行いました。一般会計の主な事業はふるさとづくり応援寄附金推進事業・新設保育施設整備事業・多面的機能支払交付金・企業立地補助金・道路新設改良事業・村山市民体育館改修事業などで歳出は133億1万円となりました。

条例等

◎村山市楯岡地域放課後児童クラブ施設条例について

旧しろはと保育園の施設を利用し、公の施設として楯岡地域放課後児童クラブ施設を設置するものです。

(全会一致で可決)

◎村山市監査委員条例の一部を改正する条例について

地方自治法の一部改正を踏まえ、議会の議員のうちから監査委員を選任しないこととする改正を行うものです。

(賛成多数で可決)

◎村山市印鑑条例の一部を改正する条例について

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、旧氏での印鑑登録を可能とすること等について所要の改正を行うものです。

(全会一致で可決)

前年度に比べて歳入で1億5915万円、歳出で11116万円の増となり、差額の1億4799万円の増となりました。他に特別会計決算のほか、条例の制定や一部改正など12件、補正予算3件が提案され、決算9件は決算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり認定・可決し閉会しました。

◎村山市手数料条例の一部を改正する条例について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、消防法に係る手数料の額を改定するものです。

(全会一致で可決)

◎村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

山形県医療給付事業補助金交付規程の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

(全会一致で可決)

◎村山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法律施行令の一部改正に伴い、引用条文の整理等を行うものです。

(全会一致で可決)

◎村山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例及び村山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に



エアコンが設置された村山市民体育館

関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援法の一部改正により、幼児教育・保育が無償化されることに伴い、関係条例について所要の改正を行うものです。

(全会一致で可決)

◎村山市火災予防条例の一部を改正する条例について

消防法令に違反のある防火対象物について、その違反内容を公表する制度を新たに設けることに伴い、所要の改正を行うものです。

(全会一致で可決)

◎住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居

平成30年度 一般会計決算総額

特別会計決算総額

133億 73億1,87

ポイント

- ふるさとづくり応援寄附金として4億4,103万円の寄附をいただき、返礼品として2億7,944万円分を配送しました。
- 定住人口の拡大並びに地域経済の活性化を目的に新築・中古住宅購入等にかかる費用の一部を負担しました。
- 周辺に危害を及ぼす危険性のあった、所有者が確知できない空き家について、空き家措置法に基づく略式代執行により解体除去を行いました。
- 山の内自然体験交流施設のシャワー室を設置し、スポーツ合宿や学校の宿泊訓練などでの利用増に伴い整備を実施しました。
- 村山市民体育館改修事業としてスポーツ振興くじ助成金を活用し、アリーナ床全面張替、正面玄関の段差解消とスロープの設置、空気調和整備設置（エアコン）などの整備を実施しました。



山の内自然体験交流施設（やまばと）に設置されたシャワー室

表示の方法について

新たに住居表示を実施するにあたり、市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法を定めるものです。（全会一致で可決）

◎字の区域及び名称の変更について

新西地区の県営土地改良事業の結果、土地の区画等が変化し、従来からの字の区域及び名称を存置することに不都合が生じるため字の区域及び名称を変更するものです。（全会一致で可決）

◎人権擁護委員候補者の推薦について

板垣 和司氏（楯岡） 再任

請願・発議

◎教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはか

るための、2020年度政府予算に係る意見書採択要請の請願（全会一致で採択）

（全会一致で採択）

請願採択を受け意見書が提出されました。

30年度の主な事業

○子育て応援定住促進事業	5,202万円
○五日町児童遊園整備事業	2,136万円
○統合保育施設整備事業	1億3,660万円
○子育て応援すくすく手当支給事業	594万円
○農業次世代人材投資事業	1,255万円
○農商工連携・農業6次産業化統合支援事業	100万円
○じゅんさい沼環境整備事業	130万円
○空き家対策事業	627万円
○山の内自然体験交流施設管理事業	1,116万円
○村山市民体育館改修事業	1億7,329万円

平成30年 決算特別委員会



森 一弘
決算特別委員長

本委員会は、本会議において設置されたあと、去る9月10日に委員会を開催し総括質疑を行い、常任委員会を単位とする2つの分科会を設置しました。予算の執行が適正かつ効率的に行われてきたか、また施策や事業の目的がどの程度達成され、市民サービスや福祉の向上にどのように貢献したかなどの観点から慎重に審査を行いました。その結果、平成30年度決算については、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

決算全般については、人口減少対策としての若者定住促進支援や、空き家対策事業、教育環境充実のための楕岡小学校改築事業、市民生活環境向上のための駅西エリアの開発事業などが、それぞれの事業は「第5次村山市総合計画」に沿って着実に進捗していると評価するものです。

各分科会での意見を真摯に受け止め、今後の行政執行及び予算編成に反映していただくとともに「次の世代へ引き継ぐ村山市を創る」を実現するため、最小の経費で最大の効果を発揮されるよう期待します。

総務文教分科会

●市民への情報発信手段として、ホームページやフェイスブックの活用とともに、災害時などで有効な手段とされているツイッターの導入について検討を要望します。

●ふるさと納税については、返礼品の多くを「サクランボ」で占めていることから、課題である数量の確保を生産者や農協と連携して行うよう要望するとともに、納税対象者に市内イベントを開催するなどの交流を行い、市の関係人口を増加する施策の推進を要望します。

●市内の公共施設は、老朽化が進んでおり、今後の維持管理経費の増大が課題となります。市全体の公共施設のあり方について検討されるよう要望します。

●学校施設維持管理のうち、特に小学校のグランド維持管理は、教師や用務員、保護者の協力により行っていますが、児童数の減少に伴い数も減少していることで、学校での管理が困難になり、今後の管理について検討を行うよう要望します。

●農地関連の手続きについて、内容によっては担当課が違うことから窓口を一本化するワンストップサービスとなるよう要望します。

●居合道体験については、今後も大いに盛り上がるものと期待しますが、国内外の観光客に対応できるよう剣士の育成や地元との協力など受入れ体制の検討を要望します。

●最上川美術館については、名称を変更し数年経過しますが、入館者数の状況は厳しいものとなっています。今後を見据えた運営や取り組みを要望します。

●豪雨対策として、本市の河川の泥の堆積、雑草の繁茂による治水力の低下が心配されます。計画的な浚渫（しゅんせつ）を行うよう要望します。

●休日診療所の運営は、医師会の地域医療に対する意識の高さにより支えられています。市民の意見、医師会の意見にも耳を傾けながらよりよい運営を要望します。

●近年増加している児童虐待については、通告された事案について迅速な対応とともに未然に防ぐための訪問や情報収集に努められるよう要望します。

●国定資産税の課税誤

産業厚生分科会

●委員についても、子どもに対する相談が増加する中で、各地域に1名ずつ配置できるように要望します。

●市役所では、子どもに対する相談が増加する中で、各地域に1名ずつ配置できるように要望します。

●市役所では、子どもに対する相談が増加する中で、各地域に1名ずつ配置できるように要望します。



高橋 菜穂子

葉山中学校区に小中一貫校を

答弁 今のところ考えていない

子ども・子育て支援事業計画の最終年度、ニーズ調査を受けて本市の子育て支援策はおおむね好評であるが、公園や屋内遊技場を求める声が多く、特に希望は小学生も体を使って遊ぶことができる公園、そして天候を気にせず利用できる

A 楯岡高校跡を利用したい。
Q 葉山中学校区は、保育施設の再編が検討され、小学校は次期適正配置計画の策定を行う時期であるが、中学校も含めた全体的な計画が必要ではないか。葉山中学校区は、小中一貫校がよいのではないか。
A 今のところ考えていない。

Q 保護者には子どもが入学する学校の同級生が少ないことを心配する声があり、複式学級解消に向けて地域検討会を早期に開催し、保護者の声を丁寧に聞いてほしい。

A ルールに基づいて開催する。

Q 子どもの弱視の早期発見に向けて、三歳児健診において、屈折異常を器械で測るオートレフ検査を導入してはどうか。弱視は五歳までの治療が有効である。

A 現在の方法でよいと考えている。



整備された五日町児童遊園



正 結城

歴史文化の掘り起こしで地域の活性化を

答弁 文化振興・観光促進に結びつける

Q 「村山市歴史文化基本構想」では、基本理念を定め、平成29年～30年度の2年間で構想の策定に取り組み、多くの市民の参加があり、多くの成果があったと思われるが、経過と成果を伺う。

A 文化庁が推進する事業で、市民が主体になり「基本構想策定委員会」を結成し計50回ほどの事業を行い、のべ千名以上の方々の参加があった。また、市内にある歴史素材や文化財を掘り起こすことができ、こんなに多くの方々や歴史や文化財に興味関心を持っていることがわかった。

Q 今後の取り組みについて伺う。
A 歴史素材や文化財を保存・活用し地域の活性化、文化振興、観光促進に結びつけて

いききたい。若い担い手の確保・育成が課題と思う。

Q 山形県に対し、令和2年度の村山市重要事業の12項目の中の1項目として、大旦川流域の総合的治水事業の推進についてを6

月に要望してきたが、県の回答は、どうだったのか。

A 引き続き事業を進めたい。調整池の関係については、早期に着手したいとの回答であった。



総合的治水対策事業の推進が待たれる大旦川流域

9月4日、5日、6日

10人の議員が一般質問を行いました。



秋葉 新一

公用車にドライブレコーダー設置を

答弁 順次設置していく

Q 自然災害が頻発し防災意識と地域防災の担い手として、防災士が脚光を浴びている。地域や市の防災訓練などでの出番作りと活用の拡大を。

A 地域防災の中核として期待される。防災士の活動への理解啓発を図り活用に結びつけていく。

Q 非常時の備蓄品の中に試験的に乳幼児などの要配慮者に必要となる生活用品のひとつに「液体ミルク」を検討は。

A 現在の備蓄状況は非常食、飲料水、簡易トイレ、毛布、発電機などである。今後生活用品も必要となる物品を検討する。

Q 全国のみならず、山形県でもおおり運転が増えている。事故のときの証拠映像、



常温で備蓄可能な液体ミルク

そして動く防犯カメラにもなるので、公用車にドライブレコーダーの設置を。

A 使用頻度の高い車両から順次設置する。

Q 経済的負担軽減の面から村山らしい子育て支援策として、

A ①十分に検討する。②全額助成実施に向け検討する。



矢萩 浩次

次世代に向けた安心安全なまちづくりを

答弁 多様な災害にオールラウンドに進める

Q 大地震への対応は引き続き必要であるが、今後、異常気象や集中豪雨への対応が必要不可欠である。ICTを活用した防災の考えも出てきており、次世代に向けた市民の人命を守る安心で安全なまちづくりを望む。

A 市民の人命を守る、多様な災害にオールラウンドに対応した安心安全なまちづくりを進める。防災マップを配布したが、今後説明会や出前講座など広く市民への周知に努める。防災無線もデジタル化を図った。後期計画には、いろんな災害に対し人命第一の計画を策定するが、公助には限界もあり自助共助がとても重要である。



大雨で増水した最上川

Q 防災マップの周知は、早期に丁寧な高齢の方にもわかりやすい説明会が必要である。特に避難所は地震・土砂災害・洪水により避難所になる・ならないところがある。普段から災害の程度や範囲、避難所の場所を

A 認識しておく必要がある。大規模広域災害が発生した場合の初期訓練など日頃の訓練も重要である。

A 地域担当職員で土砂災害初動訓練を実施、今後は本市防災訓練に合せ初動訓練も実施予定である。



茨木 久彌

市道東西2号線の整備計画は

答弁 令和四年から着工の予定である

Q 東西2号線の工事計画について問う。
A 一期区画（沖ノ反田集落区内）877mを令和4年に着工予定である。

Q 「最上川三難所舟下り」が、長太郎グループの傘下となり令和元年8月オープンした。本市の観光資源と連携し相乗効果を上げるチャンスだと思いが。

A 最上川三難所舟下りは舟運時代の面影を感じながら、当時を体験できる貴重な観光資源である。東沢バラ公園、そば街道、じゅんさい、居合神社、クアハウス基点など市内の名所と結び付けていきたい。
Q 今年で25周年を迎えた「むらやま徳内まつり」の今後の方針と課題は。

A 3日間とも天候に恵まれ、19万人の観客の中25周年にふさわしいまつりであった。減少傾向にある出演者の確保と将来まつりの中心となる子ども達の参加を期待したい。今後は評価されてきた「ゴミのない」「事故のない」まつりを守って

いく。25年間県内の代表的な夏まつりのひとつとなった「むらやま徳内まつり」を支えていただいた徳内ばやし振興会、出演団体、ボランティアの方々、市民とともに「むらやま徳内まつり」を支援していきたい。



令和4年から着工予定の市道東西2号線



石澤 祐一

隣町の大規模太陽光発電所建設で

当市への影響は

答弁 工事用道路建設計画で今後も注意する

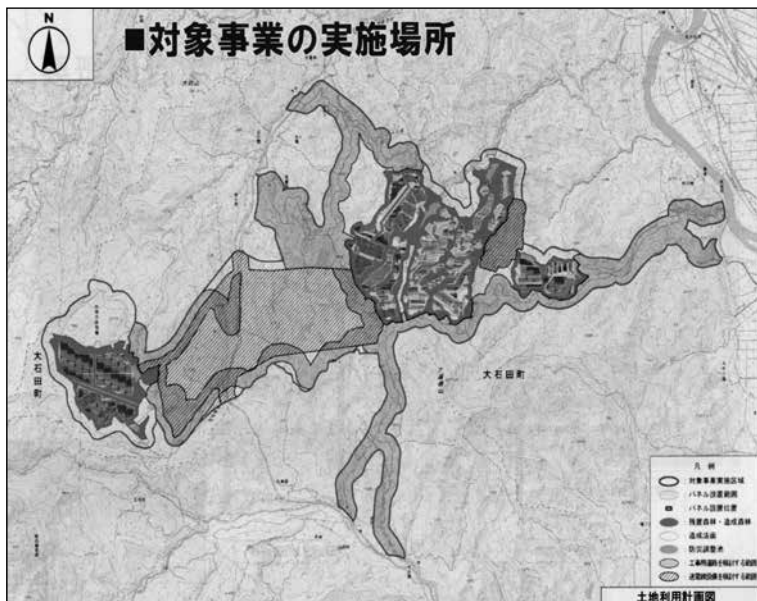
Q 本市の隣町、大石田町次年子地区の山林で大規模太陽光発電所建設を計画している業者が、県の条例に基づき「環境影響評価方法書」を縦覧しているが、対象事業区域に山の内地区が含まれることになった。当市の考え方は。

A 区域面積1270haで山の内地区が含まれ太陽光パネル設置面積200haで発電規模は約100メガワットである。山の内地区は工事用道路として対象区域に含まれた。工事用道路は複数ヶ所選定されている。村山市への影響は太陽光パネルの反射光が一部住宅にかかると懸念はある。大高根山からの景観を阻害する可能性、富並川の水質汚染する可能性が考えられ今後も注

意をして見守っていく。
Q 選挙の投票率低下が問題となっており、村山市として選挙の関心を高め、投票率を上げるための施策は。

選挙権による新たな有権者や高校生を対象に、模擬投票を通じて選挙の意義に理解を深める。出前講座に取り組み。市民がより利用しやすい期日前投票所の設置も進めていきたい。

A イベントを活用した若い世代への啓発を考えている。18歳



大規模発電所の実施予定場所



中里 芳之

高校卒業までの医療費無料化と 学校給食費無償を 答弁 給食費は親が負担

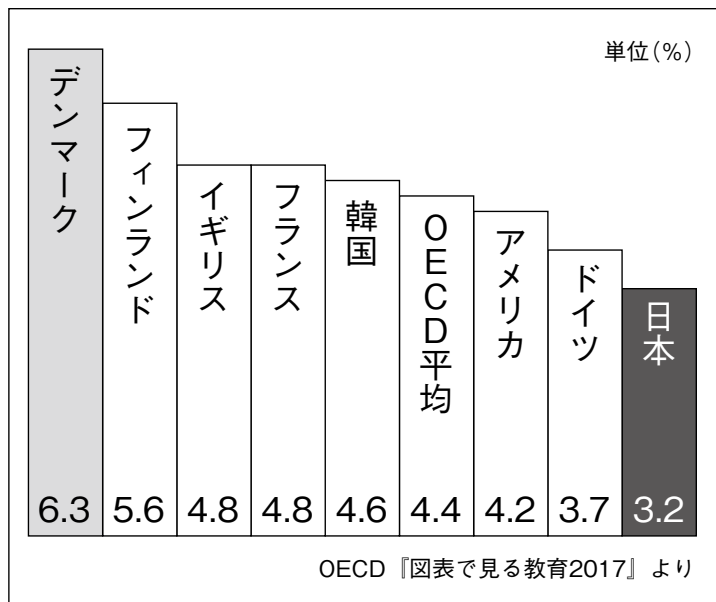
Q 日本の出生率は1・42、フランス1・90、スウェーデン1・78、イギリス1・76。内閣調査では、子ども数が理想人数を下回った夫婦に理由を聞いたところ、最も多い答えは「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が56・3%。フランスは27・8%、イギリスは26・1%。①「県の動向」を待たずに、高校卒業までの医療費無料化に動き出すべきではないか。②憲法には「義務教育はこれを無償とする」とあり、政府も「学校給食などの無償」も含め「できるだけ早く広範囲に実現」したいとし、ユネスコも日本に勧告している。学校給食の無償化は、憲法が求めているものであり、世界的に見ても、教育行

政が求めていかなければならない課題ではないか。③10月からの保育料無償は消費税増税と抱き合わせ。無償化の恩恵はなく増税だけが加せられる低所得世帯が多く生まれる。横手市では保育園の副食費を独自に無料にする。

る。「主食費」月800円が負担増となる方も含めて、本市でも横手市のような対応を。

A ①県の動向を見て考える。②給食費は親が負担すべきだ。③負担増の方については説明会で理解していただく。

「県の動向」を待たずに、高校卒業までの医療費無料化に動き出すべきではないか。②憲法には「義務教育はこれを無償とする」とあり、政府も「学校給食などの無償」も含め「できるだけ早く広範囲に実現」したいとし、ユネスコも日本に勧告している。学校給食の無償化は、憲法が求めているものであり、世界的に見ても、教育行



公教育のGDPに占める割合



川田 律子

養護老人ホームへエアコン設置の助成を 答弁 民間の運営だ。相談があれば応じる

Q 近年の異常な暑さの中、今年は熱中症による救急搬送が県全体でも過去最多となった。本市でも65歳以上の入院は12名となつている。高齢者が多い生活保護世帯のエアコンの設置状況と制度について伺う。

A 個別のデータはない。平成23年の制度改定で貸付によるエアコン設置の場合、収入と認定せずこれまで同様の受給が出来る。また、平成30年4月からの新規で認定の場合、高齢者、子ども、障がい者のいる世帯は、一時扶助として保護の中で対象となり、今年度1件認定された。

Q 市内にある養護老人ホームは県内7市町の措置による入所者施設でもある。平成2年に馬場から移転し

建設から30年たっているが、エアコンが設置されていない。昨年の10月から特定施設となり、要介護者が10人入所しており30室の内1台設置した。異常な暑さの中、幸いにして身体の不調を訴える人はいなかったが、高齢者

の施設に市として何らかの助成が出来ないのか市長に伺う。

A この施設は社会福祉法人が民間で運営しており、市は関与しないが、相談があれば応じる。今のところ私には来ていない。



養護老人ホームの居室



大山 正弘

10年の挑戦地域おこし協力隊の活用とは

答弁 新しい発想と行動で地域協力活動を担う

Q 地域おこし協力隊制度から10年目、隊員の活動力を市政と連携すべきでないか。

A 過去になかった新しい発想と行動で市民、地区自治体に力強い魅力を期待したい。本市において、協力隊の目的とは何か。

A 隊員は市内に居住し、農林業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を担って頂き、そしてできれば、任期3年の終了後にも、引続き村山市内へ定着定住してもらおうというのを最終的な目的としている。

Q 受け入れ側として、農協と連携を図ってほしいと思うが。

A 新規就農や農地継承を目的とした協力隊を募集しており、その受け入れ体制につ

いてJ Aみちのく村山と打合せを行い準備を整えている。農業を実習指導にして3年後の新規就農に向け準備のできる体制設計にしているところである。

Q 行政委員の今後の位置づけとは。

A 行政委員は特別職の範囲が、助言、調査、診断などを行うものに限定されることになり、職務は令和2年から、これまでのように特別職の職員として位置づけはなくなる。



地域おこし協力隊の農業体験



森 一弘

都市間交流のあり方は

答弁 若い人に広い世界を見てもらおう

Q 厚岸町などの都市間交流はうまくいっている。一方大都市の台東区とは一方通行だ。もつと村山市に来てもらえる交流のあり方を考えていくべきだ。国際交流は他自治体からも注目の的である。この事業を今後どのように推し進めていくのか、ルール作りも大切だ。次に、そこから波及する効果をねらった施策をやっていくべきだ。

A 当市に來たいと思わせる目玉を探して来てもらう努力をしていく。まずは若い人に広い世界を見てもらい、自己の確立を計ってもらおう。もちろんルールを作り将来に繋げていきたい。

Q 昨年は、村山市の人口より多い3万3850人の方から4

億4103万4500円の「ふるさと納税」をしてもらった。村山市に縁のある人、好きな人、特産品に興味のある人などが応募してくれたものだ。この関わりをチャンスと捉え分析をし、村山市の政策に生かすべきと考え

A 全国的に返礼品に興味のある人が「ふるさと納税」をしている人が多く思っている。当市への納税を分析し、何ができるか検討し、前に進めていきたい。



国際交流

市政・公明クラブ
行政視察 7月25～26日

地方創生の思いとは

初日は、早稲田大学キャンパスにて吉田雄人前横須賀市長によるセミナー『人口減少社会における発想の転換』の研修を受けました。横須賀市は、基地の町と思われ基地のイメージの払拭が失敗に終わってしまいました。そこで、あえて基地をアピールする観光施策を展開、成功し、定住促進に結びつきました。地方創生とは自分の自治体で出来ないのなら他にできるはずはない。それくらいの覚悟が大事と実感しました。

平成28年7月より本年6月まで3ヶ年間、当市の佐藤政策推進課長が農林水産省に戻り、表敬訪問及び農業政策についてレクチャーを頂きました。

26日は早朝よりスイカのトップセールを大田市場で実施。市場での状況と新たにオープン

ンした豊洲青果市場での研修を実施。今年7月20日過ぎまでの低温でスイカの売れゆきは悪かったが、梅雨明け、これからの売り上げに期待感が感じられました。



大田市場でスイカのトップセールス

改革クラブ

行政視察 6月27～28日

なんでもや

宮城県丸森町の「なんでもや」は地域の店として、商品の販売とともに心と心の触れ合いや憩いの場を提供している「共同出資、共同店舗」です。地域の著しい人口減少と買い



なんでもやの移動販売車

物弱者の増加による売上減少や東日本大震災で東京電力原発事故による風評被害等からいまだに復興できず、休業していますが、現在は一日も早い再開を目指しています。

福島県子ども学習支援事業「NPO法人ビーンズふくしま」では、生活困窮者自立支援法に基づき、県北・相双地区の小学一年生から高校三年生までの子どもを対象として、無料で家庭教師型の学習支援を福島県からの事業委託で活動している事業所です。登録人数は県北に15名、相双に7名登録されています。

ヤクーツク市公式訪問
7月30～8月4日

なつれつ歓迎

7月30日～8月4日まで、姉妹都市ヤクーツク市を訪問しました。真夜中の空港着であったが、副市長、副議長の出迎えて感激しました。市役所を表敬訪問、市長、議長はじめ幹部の方と面談、今後の交流について話し合い、青少年の交流が要望されました。今後の交流に明るい兆しを見ることが出来、また、サハ共和国キリリン大臣とも表敬訪問面談しました。永久凍土館、野菜の温室栽培、ダイヤモンド研磨場等見学し、訪問では、日本国領事



ヤクーツク市表敬訪問

館に格別お世話になりました。

仙台村山会総会

7月7日

故郷に思いを寄せて

第16回仙台村山会定期大会がメトロポリタン21階のスカイホール銀河で開催されました。会員は千名を超えていますが、当日は田中会長を初め43名が出席。志布市長、服部商工会長、5名の議員、また、宮城県選出の土井享衆院議員など総勢55名が



仙台村山会総会

審議結果報告

(9月定例会において賛否の分かれた議案について掲載しました)

議案の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ							日本共産党 村山市議団		改革クラブ		無党派			賛成	反対
			矢萩 浩次	高橋菜穂子	石澤 祐一	森 一弘	大山 正弘	茨木 久彌	海老名幸司	川田 律子	中里 芳之	犬飼 結城	菊池 貞好	佐藤 昌昭	秋葉 新一	長南 誠		
市長提出議案 第61号 村山市監査委員条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	議	8	6

正副議長及び議選の監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。○=賛成 □=反対 議=議長

議会活動

- 7月
- 3日 議会運営委員会協議会
- 4日 葉山開発協議会
- 6日 ROSE CAMP歓迎レセプション
- 7日 仙台村山会総会
- 8日 共立衛生処理組合第2回定例会
市経営者懇話会通常総会
- 9日 知事を囲む市町村自治振興懇談会
- 12日 北村山公立病院組合議会第2回定例会
- 15日 ROSE CAMP公開演技会
- 19日 全員協議会
- 22日 市自衛隊協力会総会
- 27日 台東区友好都市交流会
- 29日 会派代表者会議
- 30日 ヤクーツク市公式訪問（～8月4日）
- 8月
- 2日 台東区少年野球交流事業表敬訪問
県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 6日 北村山開発推進協議会総会
- 7日 会派代表者会議
- 9日 議会運営委員会協議会
県市議会議長会議員研修会
- 15日 総務文教常任委員会協議会
戦没者追悼式
- 19日 共立衛生処理組合臨時会
- 20日 国道347号改良促進期成同盟会総会
北村山公立病院組合議会
- 21日 全員協議会
- 23日 徳内まつり（～25日）
- 26日 広域斎場事務組合議会定例会
- 27日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 30日 東北中央道建設促進協議会総会
- 31日 国会議員との懇談会
- 9月
- 2日 全員協議会
本会議
- 4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
会派代表者会議
- 10日 決算特別委員会
- 11日 決算分科会・常任委員会
- 12日 ブルガリア写真展オープニングセレモニー
決算分科会・常任委員会
- 13日 秋のバラまつりオープニングセレモニー
常任委員会
産業厚生常任委員会協議会
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 決算分科会委員長会・常任委員長会
議会運営委員会
- 20日 全員協議会
決算特別委員会
本会議
- 24日 議会だより編集委員会
- 25日 参考人意見聴取会
- 27日 議会だより編集委員会
- 30日 北村山広域行政事務組合議会定例会
議会運営委員会

「人口減少時代の自治

地域の視点に徹して

山形県市議会議長会 8月9日

山形県議会議長会主催の第57回議員研修会に12名が出席しました。講師には、東京大学名誉教授大森彌氏を迎え、

「人口減少時代の自治

と題して、

人口減少という困難

な時代において、自治

体議会とは、地域の将来

に責任をとるという一

点で、議員の個別事情

や政党・会派の違いを

超えて、議会の意思と

して集約できなければ

なりません。当議会か

ら議会における申し合

わせ事項が時代に合っ

ていないと感じている

という質問には申し合

わせは公開されておら

ず、市民に見えない形

で決めるのはどうか、

との回答がありました。

出席しました。村山市の特産品も準備し、大勢の方がふるさとのなつかしい味を求めていました。恒例の空くじなしの抽選会もあり、最後に秋葉副議長の先導で故郷と村山市民歌を合唱し、散会となりました。

体議会と議員の使命と課題」についての講義を受けました。

市議会議員選挙

告示日 10月20日(日)

投票日 10月27日(日)

○投票時間

- ・午前7時から午後8時
- ただし、以下の投票所は午前7時から午後7時（閉鎖時間を1時間繰り上げ）

大淀公民館
清水公民館
岩野会館
樽石会館
深沢地区自治公民館
山の内自然体験交流施設



○期日前投票

期間：10月21日(月)～10月26日(土)
時間：午前8時30分～午後8時
場所：市選挙管理委員会事務所
持参するもの：入場券（裏面の誓約書を記入して持参ください）

※入場券は10月23日までに郵送されますが、到着前でも期日前投票ができます。

市民の声 & 表紙について

9月8日、林崎居合神社において各流派が集い合同演武会が開催され、市内外からたくさんの剣士が素晴らしい演武を奉納されました。

楯岡小学校の居合道クラブのみなさんも、日頃の練習の成果を発表されました。居合道クラブは、4年生以上の13名が所属し、月2回の練習をしています。



——子どもたちに伝えたい——

居合道は、地元に残された貴重な文化なので大切にしてほしいと思います。また、居合を祭る日本に一つしかない神社ですので、誇りをもってもらいたいです。

林崎居合道伝承会 会長 齋藤 隆 さん



酒井 ^{ひなた}日向さん (5年生)
①友達が楽しそうにやっていたから。
②難しい技ができたとき。



居合道 楽しいよ！

- ①始めたきっかけ
- ②始めて良かったところ

鈴木 ^{きずな}絆さん (5年生)
①父が地元の大倉だから。
②新しい技を覚えたとき。



遠藤 ^{そうや}蒼也さん (4年生)
①父・祖父が剣道をやっており、影響を受けたから。
②新しい技を覚えること。



委員長 秋葉 新一
副委員長 川田 律子
委員 結城 正
石澤 祐一
高橋 菜穂子
矢萩 浩次
犬飼 司

実りの秋、美しい季節です。現委員会で作成する最後の議会だよりとなりました。お読み頂きありがとうございました。
(高橋)

あとがき